

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	14	学校名	仙台市立原町小学校	校長名	川合 輝文
------	----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

環境問題について考えよう ～ペットボトルイルミネーションを通して～



## 2 取組の紹介

4年生の社会科「ごみのしゅりと利用」、総合「環境問題について考えよう」の学習を通して、家庭で出るごみの量や学校で出るごみ・給食で出る残食の多さを知りました。そこで、ごみに関わる問題について捉えさせるために動画を活用し、地球の環境を守るためには多くの課題があることを学びました。そこから、自分たちにできるごみを減らす具体的な活動として、普段の生活で身近なペットボトルの再利用について考えました。



今年度は4年生が社会科と環境問題の観点からペットボトルイルミネーションとボトルキャップアートの制作を計画し、ペットボトルの再利用を考える学びにつなげました。集めたペットボトルはペンで丁寧に色を塗り、市民センターの方々に教えてもらいながら一緒に設置作業をお手伝いしました。また、点灯式に向けてポスターを作り商店街に掲示させてもらったり、校内でも昼の放送やポスター掲示を通じて活動の紹介や点灯式の呼び掛けをしたりしました。完成したイルミネーションはJR陸前原ノ町駅の広場をはじめとして、原町商店街のお店や学校出入口付近の窓、校舎内の階段にも飾りました。イルミネーションは大小のツリー型やランタンをつなげた飾りなど、市民センターの御協力をいただきながら多様な作品に仕上がりました。

## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

活動を通して自分たちが出すごみの量の多さや、ごみにも様々な種類があり処理の仕方にもそれぞれ違いがあるなど、ごみに関する問題について関心が高まりました。また、この学習を通して、ごみを減らすためには分別を意識して生活することが重要であることや、3Rをもとに簡単にごみを出さないこと、ごみになりそうな物も工夫次第で素敵な物に生まれ変わること気付くことができました。学習後の振り返りでは、「今回、学習したことをたくさんの人に知ってもらい、みんなでごみを減らしていきたい」、「みんなの住む地球は、みんなで住みよい環境にしていきたい」など、これからの生活に向けた前向きな考えを持つことができました。



←ボトルキャップ  
アート

校内階段踊り場の→  
イルミネーション

